

令和4年3月18日

保護者の皆様

京都市立洛北中学校
校長 長谷川 正己

春季休業期間中の健康管理について

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にありますが、減少スピードは緩やかで、当面は新規感染者数が高いレベルで推移していくことが予想されており、感染を再拡大させないためにも、引き続き感染防止の取組を徹底することが重要です。

各家庭におかれては、春季休業期間中におきましても、お子様をはじめ、ご家族の体調・健康管理の徹底、保健衛生意識の向上と実践に引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします。

また、休業期間中に本校生徒等の陽性が判明し、他の生徒等に影響があると考えられる場合は、感染拡大防止のため、お子様の検査等についてご協力をお願いすることもございますので、あらかじめご承知おきください。

本校におきましても、来年度も引き続き感染拡大防止に万全を期しながら教育活動に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

記

1 健康状態の把握

- ① 引き続き、**毎日朝晩、お子様の体温を測定し、発熱や咳などの風邪の症状はないか等、健康観察を行い、その結果をお子様にお渡ししている「健康観察票」にご記入ください。**本票は必要に応じて学校に提出していただく場合がありますので、1ヶ月程度は大切に保管してください。

また、保護者の皆様も、お子様と一緒に毎日の健康観察にお取り組みいただき、ご家族で保健衛生の取組を進めていただくことをお願いいたします。

- ② **お子様が部活動等の機会に登校される際は、必ず「健康観察票」を持参させてください。**

登校前の健康観察で**発熱等の風邪症状がみられた場合は、学校に連絡のうえ、感染拡大防止のため、必ず登校を控えて自宅で休養させてください。**

- ③ お子様に発熱や体がだるい・のどが痛いなどの風邪症状があるときは、かかりつけ医など、身近な医療機関（地域の診療所、病院）に、まず電話で相談してください。

休日・夜間など受診できる医療機関がない場合は、「きょうと新型コロナ医療相談センター」（電話 414-5487、365日24時間受付）に連絡してください。

少なくとも以下のいずれかの症状がある場合は、すぐに医療機関に電話でご相談いただくとともに、学校（電話721-7445）へお知らせください。

- 息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ（倦怠感）、高熱等の**強い症状**のいずれかがある。
（症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。）
- 基礎疾患があるなど**重症化しやすい方**で、発熱や咳などの**比較的軽い風邪の症状**がある。
- 上記以外の方で、発熱や咳などの**比較的軽い風邪の症状**が続いている。

裏面あり

- ③ ご家庭において次のような状況が起こった場合は、速やかに学校(電話721-7445)へ連絡してください。 **土曜、日曜、祝日の場合はそれらの休みが明けたのち**ご連絡をお願いします。**またお子様の登校を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。**

- お子様が、検査などにより新型コロナウイルス感染症と診断された
- お子様や同居されているご家族に感染の疑い(疑似症)があり、検査を受けるよう医師等から言われた
- ご家族などが感染され、お子様や同居されているご家族が濃厚接触者として検査や経過観察が必要であると医師等から言われた

2 感染症対策の徹底

年度末や年度初めは、卒業や入学、就職など人の動きが活発な時期になります。

本校での取組はもとより、各家庭において感染拡大防止にお取り組みいただくことが大変重要です。引き続き基本的な感染症対策の実践の徹底をお願いいたします。

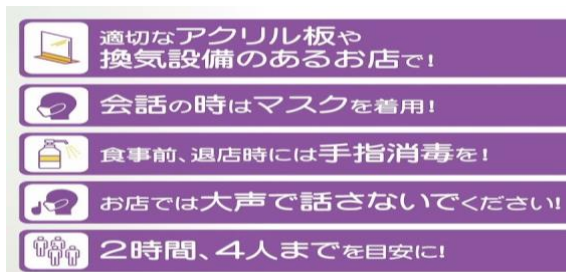
- 手洗いや咳エチケット、換気の基本的な感染症対策の徹底をお願いします。
- 感染リスクが高まる「3つの密(密閉、密集、密接)」を避けるようお願いします。
- 身体的距離が十分確保できないときは、適切なマスク着用をお願いします。
(なお、気温が上昇する時期であること等にも十分留意し、熱中症への配慮等、健康に留意した対応をお願いします。)

(京都市 HP「京都市情報館」より)

市民の皆様へ

～飲食機会等における感染リスクを低減～

「きょうとマナー」を守り、
2時間、同一テーブル4人以下とすること



～基本的な感染防止～

- 正しいマスクの着用、こまめな手洗い
外出先での手指消毒の活用、密の回避(一密にも留意)
の徹底
- 人と人との距離を 1m以上確保し、大声での会話を控えて
- 室内では適切な温度と湿度を保ち、こまめな換気を



～リスクを低減する行動を～

- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を
自粛すること
- 感染対策が徹底されていない飲食店等の利用は自粛すること
- 無症状でも感染に不安を感じる方は、無料検査等の受診を
- 不要不急の都道府県間の移動は極力控えるとともに、移動先でも
基本的な感染防止対策を徹底すること

